

平成28年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「心臓病患者のための緊急対応改善計画」贈与契約署名式

2017年3月24日、中野大使はカリブ心臓協会基金にて行われた、平成28年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「心臓病患者のための緊急対応改善計画」の贈与契約署名式に出席し、83,000米ドルの贈与契約に署名を行いました。

同協会は当国の死因第一位である心血管疾患の患者に緊急対応するために2005年に設立されましたが、同協会が有する2台の救急車では、当国全土で年間11,000件にもものぼる緊急電話に十分に対応できない状況が続いていました。

当プロジェクトでは、上記心臓病患者に対する緊急処置へのアクセスを向上するため、ジャマイカ国内で初めてとなる最新鋭の逐次伝送型心電図検査機を搭載した救急車が2台供与されます。

署名式には、同協会会長のアーネスト・マドゥ氏、当国保健省品質・計画・開発担当官のホワード・リンチ氏およびカリブ心臓協会基金関係者が参列し、日本と同協会との新たなパートナーシップの始まりを祝いました。

アーネスト氏は、質の高い医療サービスを全ての国民に分け隔てなく届けるという同協会の取り組みに対する援助に対し感謝を述べ、供与される資金を適正に使用し、最大限の効果を上げることが約束しました。

中野大使は、「国民誰一人として取り残されることはあってはいけない」という人間の安全保障の基本理念に触れ、本プロジェクトが多くの人々の健康と安全な生活を守るために役立つことを期待すると述べました。



(左) カリブ心臓協会基金会長のアーネスト・マドウ氏によるスピーチ
(右) 本使によるスピーチ



(左) 保健省リンチ氏よりタフトン大臣挨拶の読み上げ
(右) 小切手の引渡し



集合写真 (右からマドウ会長、本使、リンチ氏、リード理事、ディオエン局長)